

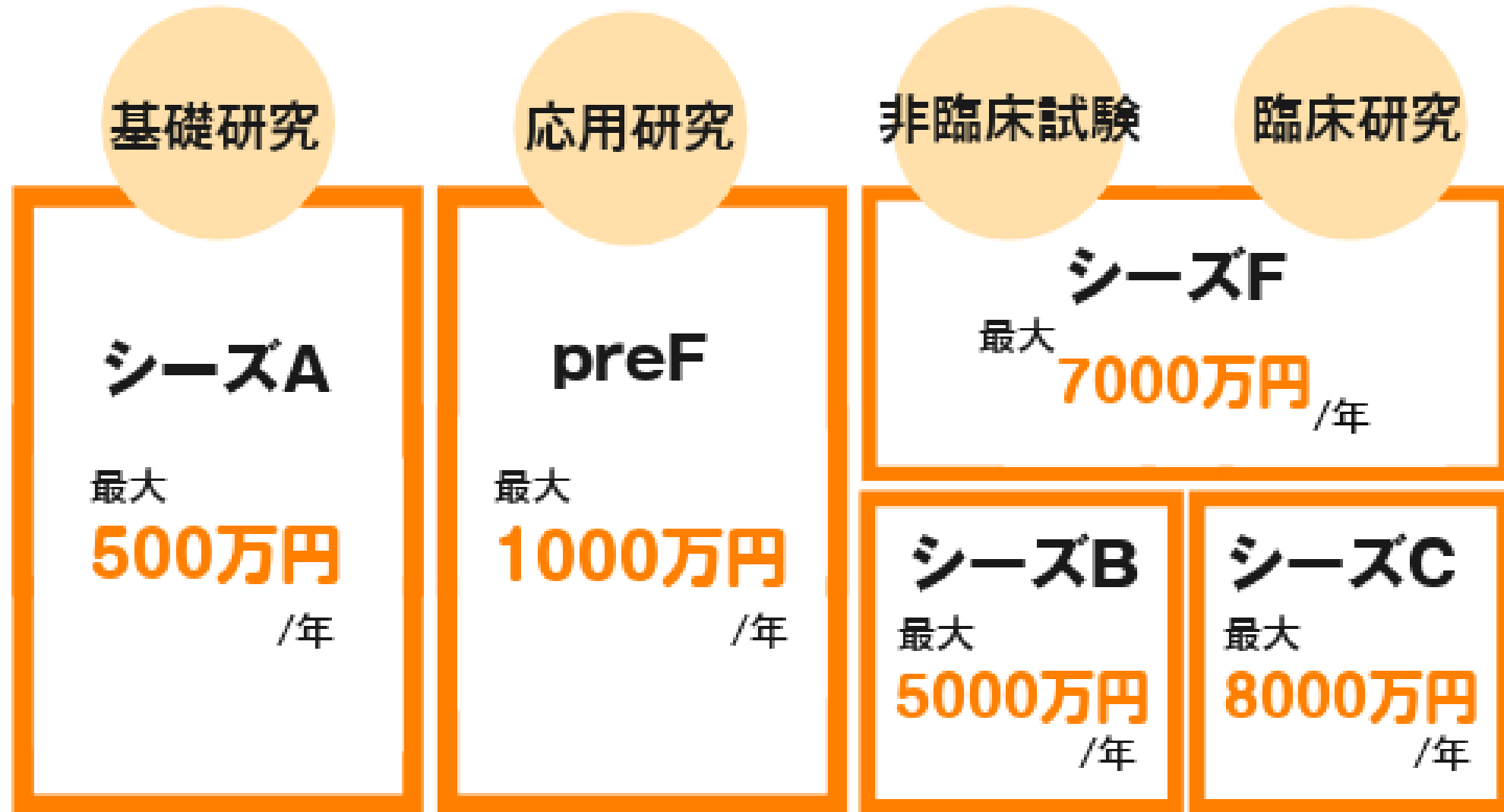
# 「橋渡し研究推進センターによる シーズ募集」について

橋渡し研究推進センター シーズ発掘チーム  
古賀 宣勝

# はじめに

- 国立がん研究センター橋渡し研究推進センターは、**国立がん研究センター内部および外部アカデミア機関**のシーズの育成や、企業とのマッチングおよび導出に向けた活動の効率化・活性化のため、候補シーズの募集と登録を行う。
- シーズは、特許取得状況、非臨床・臨床POCの取得状況、企業連携の有無などにより、シーズA、preF、シーズF、シーズB、シーズCに区分される。
- 現在、**国立がん研究センターは文部科学省橋渡し研究支援機関認定を申請中**であるが、**認定を取得した場合**、今回の応募資料をもとに橋渡し研究推進センターが事務局となる運営委員会がシーズの評価を行い、登録シーズをAMED「橋渡し研究プログラム」の公募へ推薦する予定。
- シーズ区分のうち、2022年4月に公募開始（予定）となるシーズBとシーズFについては橋渡し支援機関認定取得後に再度募集する可能性がある。

# 募集区分の概要



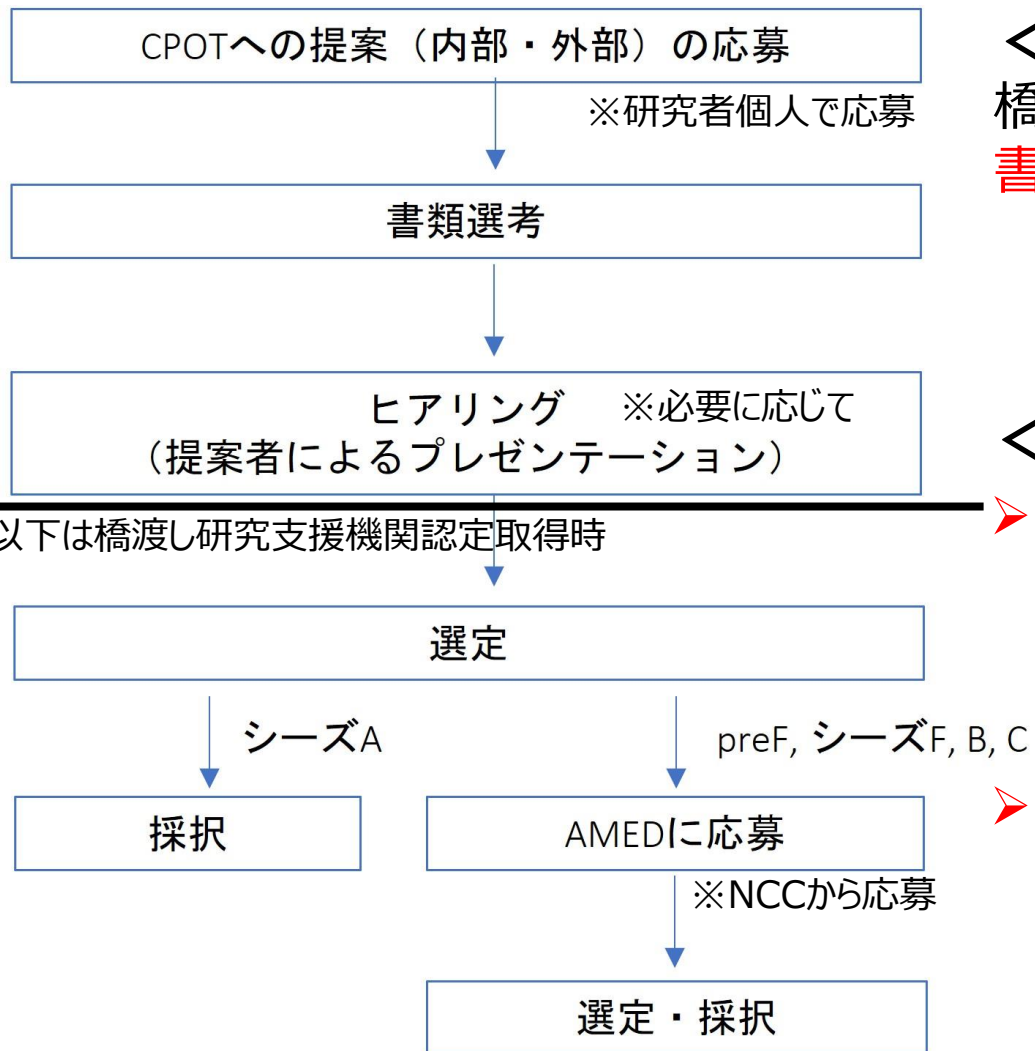
※シーズ区分別の「研究期間・研究費の規模の目安と応募条件」は次ページに掲載

# 募集区分について

シーズ区分	研究期間・研究費の規模の目安と応募条件
シーズA： 2年以内に関連特許出願を目指す基礎研究課題	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 原則1年間、最長2年間（1年後に再評価）、最大5百万円/年度</li><li>➤ 支援期間中に企業との対話の開始</li></ul>
preF： 関連特許出願済みで非臨床POC取得に必要なパッケージの取得を目指す課題	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 2年間、10百万円/年度</li><li>➤ 研究開発実施予定期間内に治験開始に必要な非臨床試験の項目についての対面助言を終了および企業との連携を行うための計画が立てられていること</li></ul>
シーズF： 関連特許出願済みかつ、開発にあたって企業連携が確立しており、非臨床POC取得および治験届提出を目指す課題、あるいは医療への適応のため早期・戦略的な企業導出を目指す課題	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 5年間、前半2年70百万円/年度</li><li>➤ 後半については引き上げを検討、アカデミアと企業の共同提案、連携企業および導出予定先企業における引き受け後の開発方針、PMDA対面助言を実施していること</li></ul>
シーズB： 関連特許出願済みで非臨床POC取得を目指す課題	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 最長3年間、50百万円/年度</li><li>➤ PMDA対面助言を実施していること</li></ul>
シーズC： 関連特許出願および非臨床POC取得済みで、治験開始を目指して1年度以内に臨床試験の準備を完了し、その後2～3年度以内に臨床POC取得を目指す課題	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 1年目、10百万円/年度 ステージゲート後最長3年間、80百万円/年度</li><li>➤ ステージゲートまでに対面助言を終了し、通過後、速やかに治験開始できること</li></ul>

# 「橋渡し研究プログラム」への推薦候補課題の選考

橋渡し研究プログラム  
運営委員会



## ＜推薦候補課題の選定方法＞

橋渡し研究推進センターが事務局となる**運営委員会**により、**書類審査**および必要に応じて**対面審査**が実施される。

## ＜推薦候補課題の選定フロー＞ ※橋渡し研究支援機関認定取得時

➤ **シーズA**については、橋渡し研究推進センターが事務局となる**運営委員会**が研究費配分の対象となる課題の**選定**を行い、AMEDによる審査はなし。

➤ **preF、シーズF、シーズB、シーズC**については、橋渡し研究推進センターが事務局となる**運営委員会**が応募課題の中から候補課題を**選考**し、**NCC**からAMEDに応募する。その後、**AMED**が各機関から推薦された課題を**審査**し採択する。

AMED

# スケジュール（予定）

12月6日（月）	応募開始
12月10日（金）	説明会（Zoomミーティング）
<b>12月20日（月） 正午</b>	<b>応募締め切り</b>
～1月上旬	書類審査
～1月中旬	対面審査（必要に応じて）
1月下旬	AMEDに申請

# 応募方法について

## <応募期限>

**令和3年12月20日（月）正午**

## <応募方法>

- 各提案書様式を下記URLまたは右のQRコードよりダウンロード  
([http://www.ncc.go.jp/jp/cpot/seeds\\_recruit/2022/index.html](http://www.ncc.go.jp/jp/cpot/seeds_recruit/2022/index.html))
- 所定の提案書を作成する（表紙と本文）
- 提案書ファイルをメールに添付し、応募窓口 ([cpot\\_boshu@ml.res.ncc.go.jp](mailto:cpot_boshu@ml.res.ncc.go.jp)) に送付



## <問い合わせ先>

橋渡し研究推進センターシーズ募集事務局 ([cpot\\_boshu@ml.res.ncc.go.jp](mailto:cpot_boshu@ml.res.ncc.go.jp))

# 選定のポイント

1. 提案書の表紙に下記四点を明確に記載する。

① **新規性**

② **優位性**

③ **医療現場での必要性**

④ **計画妥当性**

➤「②優位性」に関しては、類似研究（ゴールが似ているものも含め）との**差別化点**を明確に記載する。

➤「③医療現場での必要性」に関しては、**臨床現場での課題点と解決策**を記載する。

➤「④計画妥当性」に関しては、

- **無理な研究計画は記載しない。**
- **ゴールとタイムライン**を明確に記載する。
- 幾つかの実験を並行して走らせる際には、必ず**優先順位を記載**する。
- AMEDの公募においても、**過剰な研究計画は減点**となる。

2. **他研究費（公的、共同研究）**を獲得している場合には、**研究内容の切り分けを明確にする。**

➤本研究費で報告する研究内容は、他研究費を用いて報告する研究内容とダブらないようにする。